

局長の詞

南科は、中央及び地方政府の支持と協力の下、台南園區一期はすでに87%の基礎公共施設が完成し、段階的開発目標を達成し、企業に優れた投資環境を提供してきた。2003年末までに127の科学工業企業を誘致、1,553億台湾ドルの売上高、2万人以上に就職のチャンスを与える成績を収め、政府の国家発展政策のもと、半導体、オプトエレクトロニクス及びバイオテクノロジー三大産業が集合している。南科が竹科発展初期よりも速くこれら成果を作り出して来られたのも、国科会長官の全力支持と、竹科管理局、台南県政府及び高雄県政府の南科発展への協力、そして南科全体の職員及び入居事業機構が協力して努力経営してきたからである。

辺鄙なさとうきび畑がハイテク工場が林立するハイテクパークとなる過程で、台南園區はさまざまな改善や重要議題の解決が必要であった。排水洪水防止、文化遺産の保護、高鉄振動等の克服と、どれも初期企画スタッフ及び開発チームが苦労を重ねて優れた生産環境を作ろうと努力してきた。過去の努力はすでに成果を見せているが、今後の開発任務の苦労も考えていかなければならない。

2003年は南科にとって重要な年で、創設所設立から五年、2003年1月25日に終に、南部科学工業園區管理局が成立した。今後、管理局組織及び充実した人材で、嶄新に、継続して積極的に各項建設及び投資サービス作業を行い、より良い行政効率を提供していきたい。また、半導体、オプトエレクトロニクス、バイオテクノロジー産業を主軸に、情報通信及び精密機械の発展を加え、南科産業発展を加速し、高い売上高で優れた成績を収め更に多くの就業機会を創り出して、台湾のテクノロジー産業発展と、世界的競争力の向上を目指していかなければならない。

南科は南部で最も輝いている星である。この星の光で台湾各地を照らし、国際世界に広め、国内外の企業に優れた投資環境を選ぶチャンスを提供するために、各種宣伝物を中国語及び外国語で発行する他、2004年より毎年本局年報を中国語及び外国語で発行し、南科の発展に役立てていきたいと思っている。その他、南科発展史を受け継ぐため、本局では2001年5月に「台南科学工業園區開発の沿革」を編集し、2000年以前のイベントを記録した他、特別に当書（2003年）年報中には2001年及び2002年の主な行事の回顧及びイベントの記録を加え、各界に南科をよりよく知ってもらえるようにしている。もし年報内容にまちがいがあったら是非ご指摘いただきたい。

南部科学工業園區管理局局長

